

2025年5月1日
東海テレビ放送株式会社

東海テレビの人権およびコンプライアンスの意識向上に関する取り組みについて

3月31日にフジテレビが第三者委員会の報告書を公表し、4月2日に日本民間放送連盟から全民間放送局に対し「フジテレビジョンへの厳重注意と人権尊重およびコンプライアンス徹底のお願い」の文書が発出されたのを受け、2024年度に弊社が実施した関連の取り組みについて、以下の通りご報告申し上げます。

記

1. ハラスメントに関するアンケート調査の実施について

東海テレビでは、昨年、東海テレビグループ及び協力会社スタッフを含む従業者を対象に、ハラスメントに関する全社アンケートを実施しました。また、昨年末以降、フジテレビ事案が報道されるようになったのを機に、今年1月、アナウンサー全員に対し改めて確認調査を行いました。その結果、このたび問題になったような重大な人権侵害を受けた者、あるいはそれを見聞きした者はいませんでした。

東海テレビでは2012年1月から内部通報制度『ヘル普ライン東海』を運用しており、今後もこの制度を適切に機能させ、ハラスメントのない職場づくりを目指してまいります。

2. 全社集会および研修会の実施について

東海テレビでは、2011年に「ぴーかんテレビ不適切テロップ問題」を起こした8月4日を「放送倫理を考える日」と定め、毎年この日に合わせて「全社集会」を開催してきました。さらに、コンプライアンス・放送倫理意識の醸成を目的に、東海テレビグループの役員・従業員および協力会社スタッフを含む全従業者を対象にした「放送人研修会」を年2回ペースで実施しています。2024年度は、このたびのフジテレビの事案を踏まえ、3月25日(火)に「対人関係の構築こそが、ハラスメントゼロへの第一歩」というタイトルで研修会を実施しました。なお、東海テレビではこれまでに放送人研修会を27回開催しており、このうち人権やハラスメントをテーマにしたものは以下の通りとなっています。

今後も従業者全員の人権意識の向上や、ハラスメント防止の一助となる研修会を隨時検討してまいります。

開催日	タイトル
2019年7月25日(木)	多様性と報道～LGBTを中心に～
2021年12月6日(月)	放送における差別表現と番組制作
2022年11月21日(月)	番組制作で気を付けたい人権問題
2024年3月21日(木)	放送とSNSと人権
2025年3月25日(火)	対人関係の構築こそが、ハラスメントゼロへの第一歩

3. コンプライアンス意識醸成に向けた取り組みについて

東海テレビでは、グループ会社を含む役員や幹部、および顧問弁護士などで構成する「コンプライアンス委員会」や、ライン部長で構成する「コンプライアンス責任者会議」など、コンプライアンスに特化した会議体を運営しています。今年2月に開かれた「コンプライアンス責任者会議」と3月に開かれた「コンプライアンス委員会」では、フジテレビ事案についても取り上げ、注意喚起を行いました。

また、2012年1月からは第三者機関のオンブズマン組織「オンブズ東海」を独自に運営し、番組やイベント、コンプライアンス関連の取り組みなどについて、チェックおよび論評をいただいている。3月10日(月)に開かれた委員会では、フジテレビ事案も議題として取り上げられました。オンブズ東海の委員からは：

- ・中居正広氏と女性とのトラブルへのフジテレビの対応は、隠ぺいと取られかねないのでは。
- ・別会社とはいえ、系列局であり影響は大きいだろう。
- ・全従業者に向け、社長自らメッセージを発信したことは、非常に大事だと思う。
- ・ぴーかんの問題以降、コンプライアンス順守の様々な取り組みを続けていくことは大切。引き続き緊張感を持って進めていただきたい。
- ・内部通報窓口によりアクセスしやすいよう、周知策も充実してほしい。

等の意見をいただき、業務に反映するべく努めています。

東海テレビでは、今後も従業者一人ひとりがすべての人たちの人権を尊重し、高いコンプライアンス意識に基づく企業活動を推進できる組織・人材づくりに努めてまいります。その上で、良質なコンテンツやイベント等の提供を通じ、地域に貢献し、最も信頼されるテレビ局を目指してまいります。

以上